第４章 政策分野別の重点施策

本章においては、第３章「ふくしまの基本方向」を受け、各政策分野の基本方向の実現のために、さまざまな主体と連携しつつ、県がその役割のもと重点的に取り組む事項を「政策分野別の重点施策」として示します。

ふくしまの礎　【礎】人と地域

〔人と地域-１〕　子どもから大人まで一人ひとりの輝きが見いだせる社会の実現

(1) 子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現
(2) 人々がはつらつとして活躍する社会の実現
(3) 文化やスポーツなどによる自己実現の場づくり

〔人と地域-２〕　魅力と個性にあふれた地域社会の実現

(1) 力強さに満ちた地域づくりと分権型社会への対応
(2) 地域住民と多様な主体でともに支える過疎・中山間地域
(3) 個性的で活力に満ちた電源立地地域

ふくしまを支える３本の柱

【柱Ⅰ】活　力

〔活力-１〕地域に根ざした力強い産業の育成

(1) 力強い産業の多彩な展開
(2) 農林水産業の持つ底力の発揮
(3) 産業を支える多彩な人々の活躍

〔活力-２〕多様な交流ネットワークの形成

(1) 多様な地域との交流・連携と定住・二地域居住の推進
(2) 魅力あふれるふくしまの観光と国際交流の拡大
(3) 交流と連携強化のための基盤づくりと活用

【柱Ⅱ】安全と安心

〔安全・安心-１〕だれもが健康で安心して暮らせる社会づくり

(1) 生涯を通じた健康づくりの展開
(2) 安心できる地域医療提供体制の充実
(3) 高齢者や障がい者に対する多様な福祉サービスの充実

〔安全・安心-２〕さまざまなリスクに対して安全で安心な社会の実現

(1) 身の回りの安全と安心の確保
(2) 災害など不測の事態に対する備えの充実
(3) 安全で安心な生活を支える社会基盤の提供

【柱Ⅲ】思いやり

〔思いやり-１〕支え合いの心が息づく社会の形成

(1) 多様な人々がともに生きる社会の形成
(2) 思いやりと支え合いの心に満ちた社会の実現

〔思いやり-２〕美しい自然環境に包まれた持続可能な社会の実現

(1) 美しい自然環境の継承
(2) 環境への負荷の少ない低炭素・循環型社会への転換

第４章　政策分野別の重点施策

１　重点施策の推進によってめざす５年後の姿

第２章で記載した「めざす将来の姿」に向かい、第３章で記載した政策分野別の基本方向に沿って重点的に施策を展開することにより、本計画の計画期間の終了年度において、本県は、次のような姿になっています。

○　**合計特殊出生率が平成 20 年の 1.52 より上昇する**など、安心して子どもを生み育てることができる社会づくりが進んでいるほか、**小中学校での全国学力・学習状況調査結果が全国平均を上回る**など、子どもたちが確かな学力とともに思いやりの心や社会性を身につけ、健やかに育っています。

○　**市町村における男女共同参画計画の策定率が大幅に増加する**など、人々が自らの能力を発揮しやすい環境づくりが進む中で、人々が性別や年齢に関わらず様々な場面で新たなチャレンジをしています。また、子どもから大人まで、多くの人々がさまざまな文化活動や**スポーツ活動に取り組む**ようになっています。

○　**ＮＰＯやボランティアと県との協働事業数が着実に増加する**など、住民による主体的な地域づくりへの参加が進むとともに、市町村が地方自治の中核としての力を増し、**県から市町村へ多くの権限が移譲**されています。

○　**過疎・中山間地域への観光客の年間入込数が約 23,000 千人以上**となるなど、過疎中山間地域や電源立地地域において、それぞれの特色ある地域資源を活用した農林水産業、観光業、環境・エネルギー産業などの振興が進んでいます。

○　自動車等輸送用機械関連産業、医療・福祉機器関連産業、環境・新エネルギー産業など、高い競争力を有する成長産業の集積が進むとともに、地場産業が先端産業とも連携しながら発展することにより、**製造品出荷額が年間 63,500 億円以上**となっています。

○　耕作放棄地の解消が進むなど、本県の農業のポテンシャルの向上が図られるとともに、農商工連携の取組み、県内での生産・消費の循環、販路の拡大が進むことにより、**農業関連産出額が 2,600 億円以上**となっています。

○　**県内の年間観光客入込数が 58,000 千人以上、年間外国人宿泊者数 130 千人以上**となるなど、太平洋と日本海、首都圏と東北圏を結ぶ要衝として、また、温かな心と豊かな自然にあふれた癒しの土地として多くの人々の交流によるにぎわいづくりが進んでいます。

○　**がん検診受診率が大幅に向上**し、県民一丸となっての生涯を通じた健康づくり活動が盛んになるとともに、**医療施設に従事する医師数が増加**するなど、地域医療体制の整備が着実に進んでいます。

○　**交通事故死亡者数や刑法犯認知件数が減少する**など、身の回りの安全と安心が向上するとともに、各種の防災体制の整備が進み、高齢者や障がい者など、災害時に特に弱い立場となる人であっても、**全市町村で災害時要援護者避難支援個別計画が策定**され、安心して暮らせるようになっています。

○　人にやさしいまちづくり条例に適合する施設に交付される適合証である**やさしさマークの交付数が累計で 500 件以上**となるなど、ユニバーサルデザインの考え方が社会のあらゆる場面に浸透し、支え合いの心が息づく社会づくりが着実に進んでいます。

○　**猪苗代湖の水の汚濁の程度を表すＣＯＤ値（化学的酸素要求量）が、全国で１番の水質を誇った平成 14 年度当時の 0.5 ㎎/ℓ 以下**に戻るなど、本県の美しい自然環境が保全・向上されています。また、低炭素社会に向けた取組みが県民、企業、自治体一体となって進められ、適切に**整備された森林の面積が累計で 61,000ha** となり、温室効果ガス排出量が抑制されるなど、美しい自然環境の保全と経済活力や地域活力の維持・増進とが好循環を示すようになっています。

〔主な指標〕

指標名	現況値	目標値	
合計特殊出生率	H20 年　1.52	H26 年　上昇をめざす	一人の女性が一生の間に生む子どもの数であり、数値の上昇をめざします。
全国学力･学習状況調査の全国平均正答率との比較割合（全国平均＝100）	H20 年度　小学校 100.1 中学校 99.3	H26 年度　小学校 102.0 以上 中学校 102.0 以上	全国平均の正答率を 100 とした場合の本県の正答率であり、5 年間で小･中学校ともに 102 以上をめざします。
市町村における男女共同参画計画の策定率	H20 年度　38.3%	H26 年度　70%以上	男女共同参画計画を策定している市町村の割合であり、5 年間で 70%の策定率をめざします。
成人の週２回以上の運動実施率	H21 年度　33.2%	H26 年度　38%以上	成人の運動に親しむ習慣化を示した数値であり、5 年間で約 5%の上昇をめざします。
ＮＰＯやボランティアと県との協働事業数	H20 年度　96 事業 ［累計］	H26 年度　125 事業以上 ［累計］	ＮＰＯやボランティアと県との協働による事業の実施数であり、毎年度 3～4 事業の増加をめざします。
市町村への移譲権限数	H20 年度　1,407 件 ［累計］	H26 年度　1,600 件以上 ［累計］	市町村への移譲を行う事務権限の数であり、毎年度 30 件程度の移譲をめざします。
過疎･中山間地域における観光客入込数	H20 年　22,010 千人	H26 年　23,111 千人以上	過疎・中山間地域における観光施設ポイントの年間入込数であり、5 年間で 5%の増加をめざします。
製造品出荷額等	H20 年　59,766 億円	H26 年　63,500 億円以上	年間の製造品出荷額、加工賃収入額などの合計額であり、5 年間で 5%の増加をめざします。
農林水産業の産出額 ・農業関連産出額※[1] ・林業産出額 ・沿岸漁業産出額	 H19 年　2,525 億円 H19 年　141 億円 H20 年　109 億円	 H26 年　2,600 億円以上 H26 年　165 億円以上 H26 年　109 億円以上	農業、林業、沿岸漁業の産出額であり、それぞれ産出額の増加をめざします。
観光客入込数	H20 年　55,331 千人	H26 年　58,000 千人以上	県内の観光施設ポイントの年間入込数であり、5 年間で 5%の増加をめざします。
県内の外国人宿泊者数	H20 年　122,620 人	H26 年　130,000 人以上	県内に宿泊した外国人旅行者の延べ人数であり、5 年間で 5%の増加をめざします。
がん検診受診率 ・胃がん ・子宮がん ・肺がん ・乳がん ・大腸がん	 H19 年度　28.0% H19 年度　22.4% H19 年度　40.1% H19 年度　20.8% H19 年度　27.7%	 H24 年度　50.0%以上 H24 年度　50.0%以上 H24 年度　50.0%以上 H24 年度　50.0%以上 H24 年度　50.0%以上	市町村が実施するがん検診の受診率であり、福島県がん対策推進計画、第五次福島県医療計画の目標値 50%をめざします。

※[1] 農業産出額に、栽培きのこ類（H19 年 45 億円、H26 年 50 億円）、農産物加工品販売額（H19 年 44 億円、H26 年 63 億円）を加算している。

指標名	現況値	目標値	
医療施設従事医師数 （人口10万人対） 産婦人科[参考：実数] 小児科[参考：実数]	H18年 176.1人 H18年 142人 H18年 214人	H24年 200.0人以上	県内の病院・診療所で従事している医師数であり、第五次福島県医療計画の目標値200人をめざします。
交通事故死亡者数	H20年 113人	H26年 90人以下	交通事故による死者数であり、政策目標達成に向け継続的に死者数の減少をめざします。
犯罪発生件数 （刑法犯認知件数） 重要犯罪発生件数[参考]	H20年 19,582件 H20年 159件	H26年 19,000件以下	県内における犯罪発生件数であり、毎年120件程度の減少をめざします。
災害時要援護者避難支援個別計画の策定市町村数	H20年度 2市町村	H26年度 全市町村	災害時に備えて、要援護者の避難支援のための個別計画を策定している市町村数であり、全市町村策定をめざします。
やさしさマーク交付数	H20年 380件[累計]	H26年 500件以上[累計]	人にやさしいまちづくり条例に適合する施設に交付した適合証の数であり、毎年度約20件の増加をめざします。
猪苗代湖におけるＣＯＤ値	H20年度 0.7（mg/l）	H26年度 0.5（mg/l）以下	猪苗代湖の水質の指標であり、美しいままの水環境を保全するため、H14年度の年平均値（0.5mg/l）をめざします。
森林整備面積	H20年度 11,641ha	H26年度 61,000ha[累計] 12,200ha/年	植林、間伐などを実施した民有林の面積であり、毎年度12,200ha の整備をめざします。